

これでいいのだ!



©フジオ・プロ

—トキワ荘の青春から天才バカボンへ—

赤塚不二夫展

2000年8月3日(木)→9月3日(日)

高松市美術館

Takamatsu City Museum of Art

◎休館日:月曜日 ◎開館時間:火、水、木(9時-18時) / 金(9時-19時) / 土、日、祝(9時-17時)入室はいずれも閉館30分前まで 初日は午前10時開展示

◎主催:高松市美術館 / テレビせとら ◎入場料:一般900円(720円) / 高大生500円(400円) / 小中生300円(240円)

* ()内は前売りおよび20名様以上の団体料金 *65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)、身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

◎高松市美術館 Takamatsu City Museum of Art 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711

AKATSUKA FUJIO

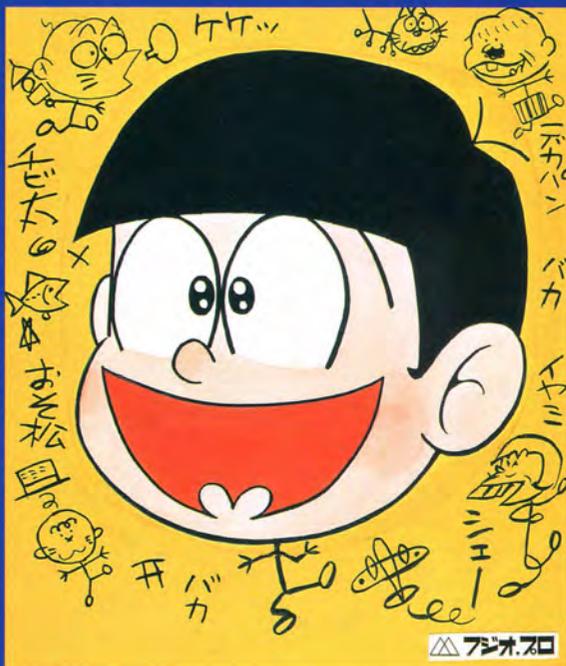


ナマちゃん



©フジオ・プロ

これでいいのだ。
★赤塚不二夫氏来館(予定)
8月6日@12:00~



おそくん



ひみつのアッコちゃん



天才バカボン

ギャグマンガの王様—赤塚不二夫。「おそくん」「天才バカボン」等一世を風靡した数多くの作品を描いています。赤塚作品に登場するキャラクターは本人にもその総数がわからないほど数多く、その時代の子供たちは「シェー」や「…なのだ」等、こぞって影響を受けました。現在でもCMやキャラクターグッズ等に登場するこれらの強烈なキャラクターは赤塚家周辺の飲み屋の常連さんなどをもとに考えられた等多くのエピソードがあります。

「マンガの神様」手塚治虫の「ロストワールド」に魅せられてマンガ家を志した赤塚は1956年、手塚が住み、藤子不二雄(藤子・F・不二雄、藤子不二雄A)、石ノ森章太郎など数多くの人気マンガ家がマンガ一色の青春をおくった「トキワ荘」に引っ越します。

悲しい少女マンガ「嵐を越えて」でデビューした後、爆笑漫画「ナマちゃん」で連載デビューを果たし、62年には「おそくん」、「ひみつのアッコちゃん」、67

年「天才バカボン」等次々とヒットを飛ばし、「ギャグマンガの王様」の異名をとります。赤塚作品が発表された60~70年代は、東京オリンピック、大阪万博の開催、安保闘争…と、経済大国日本への過渡期であり、社会にも家庭にもさまざまな新しい問題が噴出した激動の時代でもありました。赤塚作品がもつ独特のスピード感、ナンセンスで、それまでの常識やタブーを打ち破るパワーはまさに時代が待ち望んでいたものでもあったのです。またそのパワーの源でもある赤塚不二夫や個々のキャラクターの魅力は今日でも衰えることはありません。

本展は貴重な原画や掲載雑誌、キャラクターの立像、グッズ、アニメ、トキワ荘時代の写真など、赤塚作品の系譜だけではなく、最初の「マンガの黄金時代」でもあった60~70年代を検証し、今なお愛される「ギャグマンガの王様—赤塚不二夫」の全てを公開しその魅力を探るものです。



高松市美術館

Takamatsu City Museum of Art
香川県高松市紺屋町10-4 Tel 087-823-1711

交通のご案内

JR 四国—JR高松駅下車、徒歩15分
琴平電鉄—瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
バス路線—紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場—美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

催し物のお知らせ

ロバート・キャパ賞展

—20世紀と人間—
9月22日(金)~10月22日(日)

舞踏舎天鷲スペシャル・ 高松市美術館公演「女中たち」

9月26日(火) 19時開演(予定)